

令和5年度 探究科

教科	探究科	科目	探究ナビ I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビ I のテーマ：人とつながる

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
 アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

「アイスブレイク」や「コミュニケーション基礎」、「コミュニケーション応用」の基礎知識を身につけ、これからの社会に必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。

【思考力・判断力・表現力】

課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、ワークや活動を繰り返しながら解決方法について探究し、お互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」する。

【主体的に学習に取り組む態度】

自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和5年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ 名前と言葉の大切さ 集団づくり	a:アイスブレイクについて理解している。 b:アイスブレイクと探究の授業の関連性について説明できる。 c:アイスブレイクを、実生活の具体的な場面で役立てることを想定できる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	コミュニケーション(基礎)	【人間関係論】 伝えることと受け止めること 肯定的な受容と応答 他者との協働 【防災】 災害と生活 防災シミュレーション	a:人間関係論について説明できる。 b:ゲームやワークの内容を踏まえ、人間関係における提案をすることができる。 c:人間関係論の技術を、日常の人間関係の中で創造的に応用できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価
夏休み休業期間 *キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む						
2学期	コミュニケーション(応用編)	【キャリア教育】 働く意義について 適性検査と仕事調べ 仕事カルタ 就職説明会の準備 1つの職業を深く調べる 発表の準備とリハーサル 就職説明会	a:働く意義について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。 b:働くことに関し、多面的・多角的に考察し、社会の変化と関連付けて説明できる。 c:学びを自身の仕事選びに生かせることができ、今からの取り組みを具体的に説明できる。	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表
	コミュニケーション(総合編)	【演劇】 演劇について 演劇ワークショップ	a:集団の成長過程について説明することができる。 b:集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べることができる。 c:集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価

※令和5年度以降入学生用

3 学期	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅲ (総 合 編)	【演劇②】 劇団旗揚げと役割分担 台本作りに取り組む PDC A サイクルの活用 相互評価の活用 発表準備 クラス発表 全体発表	a: 集団の成長過程について説明することができる。 b: 集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べる ことができる。 c: 集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワーク シ ー ト 活 動 評 価 パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	ワ ー ク シ ー ト 活 動 評 価 パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	ワ ー ク シ ー ト 活 動 評 価 パ フ ォ ー マ ン ス 課 題
---------	---	--	---	---	---	---

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和4年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅡ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークブック、自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビⅡのテーマ：社会とつながる

「社会の一員として、主体的、創造的に課題を解決する力を育成する。」

我々がめざすべき社会とはどのような社会なのか、現在の社会が抱える課題は何なのか。変化の激しいこれからの社会でどのように生きていくのかを仲間とともに考え続けます。

探究ナビⅠで身に着けたコミュニケーション能力を活かし、仲間と協働することで課題を主体的、創造的に解決する力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

【知識・理解】

「起業」や「シンギュラリティ」の基礎知識を身につけ、これからの社会に必要なことや現在の社会が抱える課題を見つける。

【思考力・判断力・表現力】

課題を解決するために必要なものは何か、課題を多角的な視点で捉え、調査や考察を繰り返しながら解決方法について探究し、一つの企画を提案する。

【主体的に学習に取り組む態度】

提案した企画を全体で共有し、改善点や実現可能性、独創性などを検討する中で、自他の可能性の豊かさに気づき、感動を得ながら、企画をブラッシュアップさせる。

磨き上げた企画を多数の人に伝えるために効果的なプレゼンテーションを行い、自信を得る。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、他者と協働しながら、集団の中で主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	企業理解	アイスブレイク 企業の存在価値を学ぶ 企業理解 企業理解のプレゼン発表 AI と SDGs	a:企業の価値を理解し、技術の進歩と SDGs について理解する。 b:企業の意味、技術の進歩と SDGs について説明できる。 c:企業理解に関するプレゼンを通じて、社会と企業の関係、未来の社会で自分たちがどう生きるべきかを考え、プレゼン発表をすることができる。	ワークシート 活動評価 振り返りテスト	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表
		オリエンテーション 就職試験を体験する 企業調べ 企業調べのプレゼン	a:ワークを通して、企業の仕組みや活動を理解する。 b:ワークを通して、企業の仕組みや活動について説明し、自らの言葉で具体的に表現できる。 c:企業調べのプレゼンを通じて、プレゼン発表に対する主体性をもって取り組むことができる。	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表
夏休み休業期間 *アンケート課題に取り組む						
2 学期	クエストエデュケーション(企画立案)	クエスト企業決定 企画会議 企画のブラッシュアップ	a:クエストのミッションを理解し、企画の立案に必要な知識を身につける。 b: 企画会議を通して、ミッションを多面的・多角的に考察し、社会の問題を解決できる企画を立案できている。 c:企画立案を通して、主体的に企画案を考案し、具体性や実現可能性をふまえながら、取り組むことができる。	ワークシート 活動評価 振り返りテスト	ワークシート 活動評価 振り返りテスト	ワークシート 活動評価 振り返りテスト

	クエストエデュケーション (発表準備)	プレゼン発表の準備 プレゼン発表のブラッシュアップ 中間発表 全国大会の応募	a:立案した企画を理解し、企画のプレゼン発表に必要な知識を理解する。 b:中間発表を通して、ミッションを多面的・多角的に考察し、社会の問題を解決できる企画を説明できている。 c:中間発表を通して、主体的に企画案を考案し、具体性や実現可能性をふまえながら、グループで協働しながら取り組むことができる。	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表
3学期	クエストエデュケーション (発表)	発表準備 クラス発表大会 全体発表大会 全国大会 1年間の振り返り	A プレゼン発表を通して、一年間の活動を総括する知識の習得を理解する。 b:プレゼン発表を通して、クエストと社会問題の解決を関連付けて具体的に述べることができる。 c:一年間の取り組みを通して、集団の成長過程の理解を応用して、主体的にクエストの課題と関連付けて解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表	ワークシート 活動評価 振り返りテスト プレゼン発表

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学)探究ナビⅢ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビⅢのテーマ：未来を切り拓く

「より良い未来を実現するため、自己の希望する分野で活躍できる力を育成する。」

より良い未来社会の実現を担っていくために、自分の能力を将来どの分野で活かすのか。自己実現と社会実現の両面から進むべき道を仲間とともに探究し、夢を見つけ、叶えていきます。

探究ナビⅠ、Ⅱで身に着けたコミュニケーション能力や課題解決能力を活かし、自己の希望する分野で活躍するための探究力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

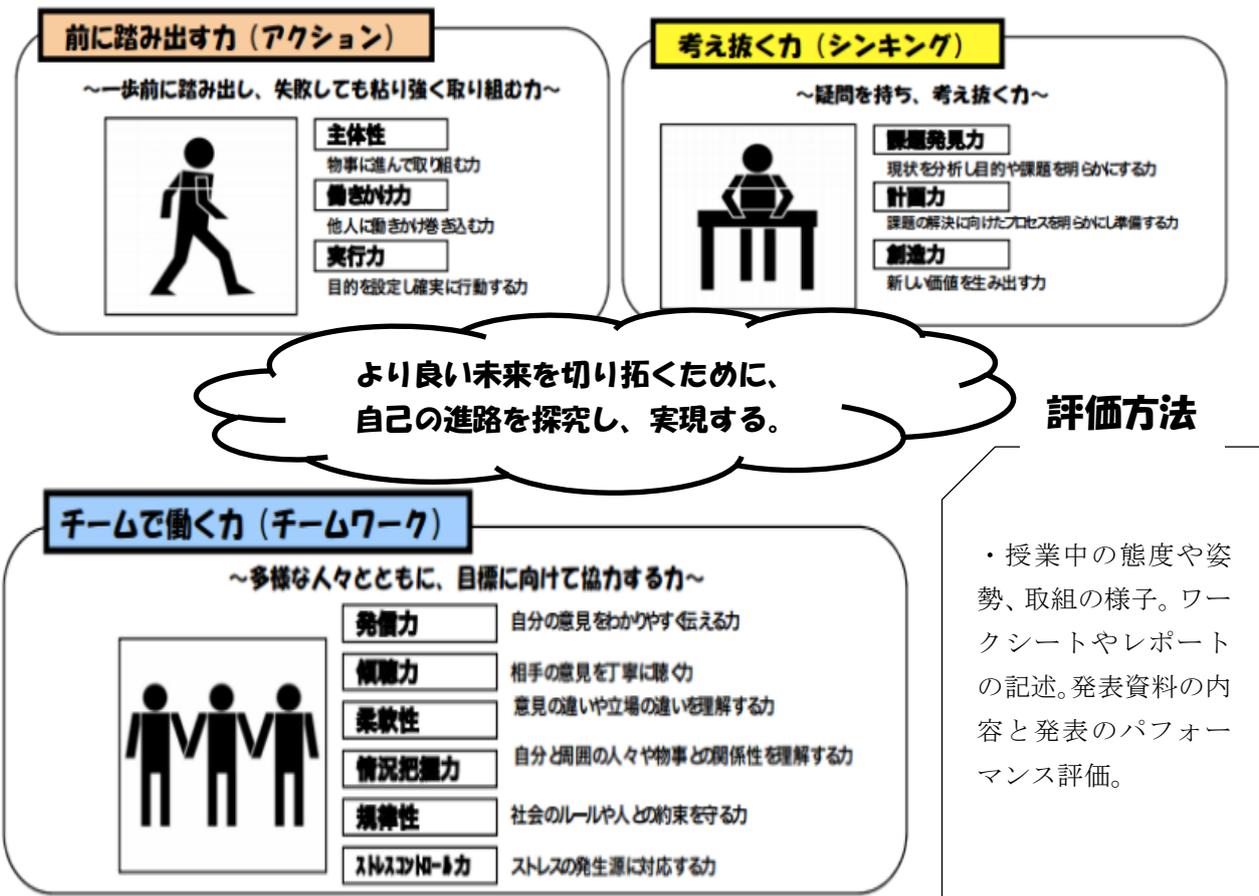
【発見】 自己の可能性をあらためて発見し、社会的能力として確立させ、その能力をより良い未来を実現するために活かす道を見つける。

【探究】 自己の適性を探究するとともに、より良い未来を実現するための社会的課題も探究し、自己実現と社会実現を両立させる進路を追求する。

【感動】 自己の思いを形にすることで、夢が具体化していくことに喜びを感じながら、自己の進路希望の実現がより良い未来社会の実現につながるという感動を得る。

【自信】 自己実現と社会実現の両面から自己の進路実現を果たす方法を仲間とともに考え、実行することで、自己の将来と社会の未来につながる進路を実現し、自信を得る。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）



★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A…達成した B…概ね達成した C…課題を残した D…多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点			単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				ア	シ	チ		
1 学期	集団作り	アイスブレイクと チームビルディング		○		○	ア:主体的に人と関わり、コミュニケーションを取ることができる。 シ:多面的、多角的な自己理解や他者理解をすることができる。 チ:チームビルディングの基本的手法を理解し、実践できる。	ワークシート・活動評価等
		メタ認知と自己調整			○			
	進路探究 ①自己分析	リフレーミング		○		○	ア:自己理解を深める手法を学び、他者と協働しながら実践できる。 シ:自己理解を自己PRにつなげる文章を考え、書くことができる。 チ:グループワークの中で自己の新たな可能性に気付くことができる。	
		自己推薦書を書く			○			
	進路探究 ②分野研究	志望分野について研究する		○		○	ア:志望分野についての研究に主体的に取り組むことができる。 シ:志望分野における課題発見、課題解決について考えることができる。 チ:チームで役割分担をして情報収集し、まとめることができる。	
		志望理由書を書く			○			
	進路探究 ③論理的 思考力	面接で考えを述べる		○		○	ア:より良い社会の実現のためにできることを主体的に探究できる シ:社会的課題について、解決に向けた提案を論理的に展開できる。 チ:集団討論の中で、他者の考えを尊重しながら自己の考えを表明できる。	
		小論文を書く			○			
		集団討論			○	○		
夏季休業期間								
※オープンキャンパス等、進路に関するフィールドワークを行い、レポートにまとめる。								
2 学期	課題研究 ①企画型	広報について学ぶ		○			ア:スクールアイデンティティを見出すために行動できる。 シ:広報に関する基本的知識を身につけ、学校広報に応用できる。 チ:チームで学校説明会を実施し、広報活動をすることができる。	ワークシート・活動評価・プレゼン発表等
		学校広報を考える			○			
		学校説明会を開催する				○		
	課題研究 ②探究型	問いを立てる		○			ア:自己の将来を見据え、主体的に課題を設定することができる。 シ:課題について考察し、解決策を見出して、論理的に説明できる。 チ:チームで課題研究やその発表会を行い、検討しあうことができる。	
		問いを探究する			○			
		中間発表会を開催する				○		
		探究を深める			○			
		研究発表会を開催する				○		
3 学期	反省と 総括	反省と総括			○		ワークシート	

※表中の観点について

ア:アクション(前に踏み出す力)、シ:シンキング(考え抜く力)、チ:チームワーク(チームで働く力)

※原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなりますが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けています。

※探究ナビの評価は、提出物内容と授業の様子とのバランスを考え、双方での評価をします。

学校番号	2002
------	------

令和5年度 探究科

教科	探究科	科目	(学)グローバルスタディーズ	単位数	2	学年	2
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリントなど。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDGs とは何か知っていますか？地球上に暮らす私たちが直面する問題は、私たち一人ひとりがそのことを知り、向き合い、考え、行動に移していかなければなりません。SDGs の理念は「誰一人取り残さない—No one will be left behind」です。グローバルスタディーズでは「世界を学ぶ」、「日本を知る」、「自分の周りを知る」と段階的に大きなスケールから自分の身の回りのことに着眼し、学ぶことによって、さまざまな課題に自分たちで見つけ、自分ごととして考え、その解決に向けてアクションを起こすために探究していきます。

2 学習の到達目標

【知識・技能】

国際社会が抱える課題について知り、SDGs を理解するとともに、自分の身の回りにある課題を見つけて学び、考え、探究したことをまとめて発表する

【思考力・判断力・表現力】

様々な国の現状やグローバルな考え方を知り、異文化理解につなげる。また、課題を自分ごととして考え、その解決策について探究し、アクションにつなげる

【主体的に学習に取り組む態度】

他者と協働し、課題を解決しようとする過程において、様々な学習活動に主体的に取り組む姿勢を身につける

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	グローバルスタディーズの授業内容について理解し、SDGs についての理解を深めるとともに、自分たちで探究したことをまとめて発表できる。	授業内容について、自分で調べたり、留学生やT-NET、NGO の方々、地域の事業所の方々から聞き取りをし、様々な課題を自分ごととして考え、自分の考えを他者と共有することができる。	授業を通して、課題の解決策について探究活動に主体的、協同的に取り組むことができ、自分の在り方や生き方について考え、行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	SDGs	SDGs とは何か？ リサーチと発表	a:SDGs について理解している。 b: SDGs と探究について説明できる。 c: SDGs を、世界で起こっている諸問題と繋げて考えることができる。	ワーク シート プレゼン発表	ワーク シート プレゼン発表	ワーク シート プレゼン発表
	異文化理解	バーンガゲーム T-NETによる自国についてのプレゼン 留学生との交流① 日本の学校紹介と案内	a: 海外で起こっている問題や海外の文化・習慣について理解している。 b: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について考え、説明できる。 c: 海外で起っている問題や海外の文化・習慣について自分事として考え、探究している。	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
2学期	海外における社会問題	フィリピンセブ島 NGO団体 Go Share からの聞き取り 留学生との交流② 留学生の出身国の紹介 と抱える社会問題	a:異文化や他の国に対する理解を意欲的に深め、発表しようとしている b 異文化や他の国に対して意見を持ち表現しようとしている c SDGs や他の国異文化に関する情報を収集し理解を深め、活用しようとしている	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価	ワーク シート 活動評価
	日本における社会問題	日本における社会問題 のリサーチとプレゼン 地域 SDGs 探究フィールドワーク	a:日本が抱える社会問題について意欲的に考えようとしている b:日本が抱える社会問題について情報を収集し理解を深めようとしている c:日本が抱える社会問題について理解を深め、探究している。	ワーク シート プレゼンテーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼンテーション 発表 活動評価	ワーク シート プレゼンテーション 発表 活動評価

※令和4年度以降入学生用

3 学 期	ア ク シ ヨ ン プ ラ ン と フ ァ イ ナ ル プ ロ ジ ェ ク ト	地域 SDG s 探究 プランニング	a:身の回りにある課題に興味を 持ち、意欲的に貢献しようとし ている	ワーク シート	ワーク シート	ワークシ ート
		地域 SDG s 探究 フィールドワークとプ レゼン	b:身の回りにある課題について の情報を収集し、理解を深めよ うとしている	プレゼ ンテー ション 発表	プレゼ ンテー ション 発表	プレゼ ンテー ション 発表
		校内 SDG s 探究 ファイナルプレゼン	c:身の回りにある課題に意見を 持ちその解決に向けて行動しよ うとしている	活動評 価 パフオ ーマン ス課題	活動評 価 パフオ ーマン ス課題	活動評 価 パフオ ーマン ス課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 **学** 探究科

教科	学 探究	科目	(学)グローバルスタディー ズ	単位数	2	学年	3
使用教科書	開発教育教材や自主製作プリント等						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

SDGs とは何か知っていますか？地球上に暮らす私たちが直面する問題は、私たち一人ひとりがそのことを知り、向き合い、考え、行動に移していかなければなりません。SDGs の理念は「誰一人取り残さない—No one will be left behind」で、私たちがこれからも発展していくためにめざすことをわたしたちも自分ごととしてアクションを起こすために探究していきましょう。

2 学習の到達目標

講師や留学生、地域の方々などとの出会いや交流を通して、異文化理解や地球規模の課題について知り、自分ごととして考え、自分たちのアクションにつなげる。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）

a 関心・意欲・態度

自分たちが地球市民であることを自覚し、様々な課題について探究し、実践していく姿勢。

評価方法

- ・振り返りシート
- ・出席、参加態度

b 思考・判断・表現

SDGs について探究し、様々な国の現状やグローバルな考え方から学び、自分ごととして考え、ワークシートや発表、探究実践を行う。

評価方法

- ・振り返りシート、ワークシート
- ・プレゼンテーション

c 資料活用の技能

国際社会の諸課題などについて、クロームブックを用いて情報収集し、発表資料を作成する力。

評価方法

- ・プレゼンテーション
- ・ワークシート

d 知識・理解

国際社会の諸課題について学び、理解するとともに、自分の身の回りにある課題についても知り、理解する

評価方法

- ・振り返りシート
- ・ワークシート

★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A...達成した B...概ね達成した C...課題を残した D...多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価 方法
				a	b	c	d		
1学期	SDGs	SDGsとは何か？ リサーチと発表		○	○	○	○	a SDGs に対する理解を意欲的に 深め、発表しようとしている b SDGs に対して意見を持ち表 現しようとしている c SDGs に関する情報を収集し 活用しようとしている d SDGs に関する知識を持ち理 解しようとしている	態度・ワークシート・プレゼン
		バーンガゲーム T-NETによるプレゼン		○	○	○	○	a 異文化や他の国に対する理解を意欲 的に深め、発表しようとしている	
		一人一国プレゼン		○	○	○	○	b 異文化や他の国に対して意見 を持ち表現しようとしている	
1学期	異文化理解	留学生との交流① 日本の学校紹介と案内		○	○		○	c SDGs や他の国異文化に関す る情報を収集し活用しようとし ている d SDGs やや他の国異文化に関 する知識を持ち理解しようとし ている	態度・ワークシート・プレゼン
		フィリピンセブ島 NGO団体 Go Share か らの聞き取り		○	○		○	a 他の国が抱えている問題に興 味を持ち意欲的に発表しようとし ている b 他の国が抱えている問題につ いて考え、表現しようとしている	
		留学生との交流② 留学生の出身国の紹介と 抱える社会問題		○	○		○	c 他の国が抱えている問題につ いての情報を収集し活用しよう としている d 他の国が抱えている問題に対 し理解を深めようとしている	
2学期	海外における社会問題	日本における社会問題の リサーチとプレゼン		○	○	○	○	a 留学生や他の国々に興味を持ち、日 本が抱える社会問題について意欲 的に考えようとしている b 日本が抱える社会問題について意 見を持ち表現しようとしている	態度・ワークシート・プレゼン
		地域 SDG s 探究フィー ルドワーク		○	○	○	○	c 日本が抱える社会問題について情 報を収集し活用しようとしている d 日本が抱える社会問題に対し理 解を深めようとしている	

3 学期	アクションプランとファイナルプロジェクト	地域 SDGs 探究 プランニング		○	○	○	○	a身の回りにある課題に興味を持ち、意欲的に貢献しようとしている	態度・ワークシート・プレゼン
		地域 SDGs 探究 フィールドワークとプレゼン		○	○		○	b身の回りにある課題に意見を持ちその解決に向けて行動しようとしている c身の回りにある課題についての情報を収集し活用しようとしている	
		校内 SDGs 探究 ファイナルプレゼン		○	○	○	○	d身の回りにある課題に対し理解を深めようとしている	